



この地図は、国土地理院長の承認(平24関公第269号)を得て作成した東京都地形図(S=1:2,500)を使用(30都市基交第878号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

メッシュ(格子)間隔:500m×500m

【凡例】

- 対象物
 - 東京都指定歴史的建造物
 - 特に景観上重要な歴史的建造物等(建造物や公園など)
- 指針を適用する範囲(対象物から100mの範囲)

2 聖路加国際病院
(チャペル及び付属する旧病棟)

居留地の名残をとどめる明石町のシンボル。

建設年 昭和8(1933)年
 設計者 レーモンド、バーガミニ、
 フォイエルシュタイン
 所在地 中央区明石町10番1号
 地図D-3

12 ヨネイビルディング

調和性を重視した「ストリートアーキテクチャー」の一例。

建設年 昭和5(1930)年
 設計者 森山松之助
 所在地 中央区銀座二丁目8番20号
 地図C-2

13 カトリック築地教会聖堂

ギリシャ神殿風の教会。居留地時代の息吹を今に伝える建物。

建設年 昭和2(1927)年
 設計者 石川晋次郎、シロジヤス神父
 所在地 中央区明石町5番26号
 地図D-3

20 中央区立泰明小学校

関東大震災後の震災復興事業の一つとして建て替えられた小学校。

建設年 昭和4(1929)年
 設計者 東京市
 所在地 中央区銀座五丁目1番13号
 地図A-2

77 宮川食鳥鶏卵

関東大震災以降に多く建てられた看板建築の一つ。

建設年 昭和4(1929)年
 設計者 不詳
 所在地 中央区築地一丁目4番7号
 地図C-2

54 鈴木ビル

公演や稽古事等に部屋を貸し出ししていた貸席建築。

建設年 昭和4(1929)年
 設計者 新定蔵、山中設計事務所
 所在地 中央区銀座一丁目28番15号
 地図C-2

37 築地本願寺本堂

江戸時代以来の築地のランドマーク。関東大震災後に建て替えられた。

所在地 中央区築地三丁目15番1号
 国指定重要文化財(建造物)
 地図C-3



中央区立数寄屋橋公園



銀座通り(銀座四丁目)



明石町に建つ記念碑

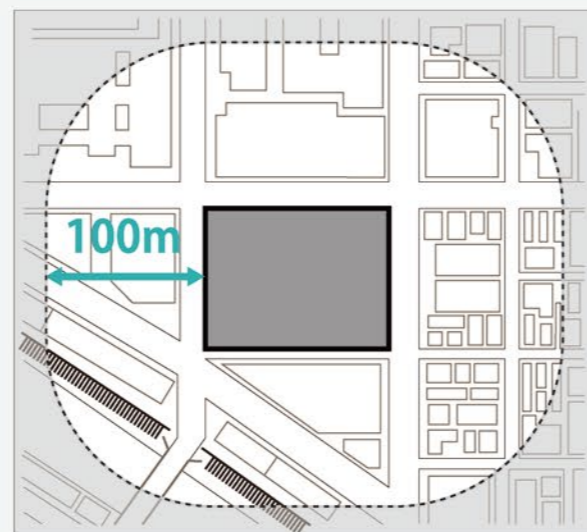


築地場外市場

歴史的な資源を生かした景観づくり

建物の素材や色彩、デザインなどにより、街並みや周囲の景観は大きく影響します。歴史的な建物等の周辺の景観を守り、育てるために、東京都では「歴史的景観保全の指針」を定めています。指針を適用する範囲内で建築行為などを行う際は、景観への配慮をお願いします。

指針を適用する範囲の考え方



- 対象物**
 - 東京都選定歴史的建造物
 - 特に景観上重要な歴史的建造物等(建造物や公園など)
- 指針を適用する範囲**
(対象物から100mの範囲)

印刷物規格表 第 4 類
印刷番号 (30) 85

東京都選定歴史的建造物と
特に景観上重要な歴史的建造物等
銀座・築地エリア

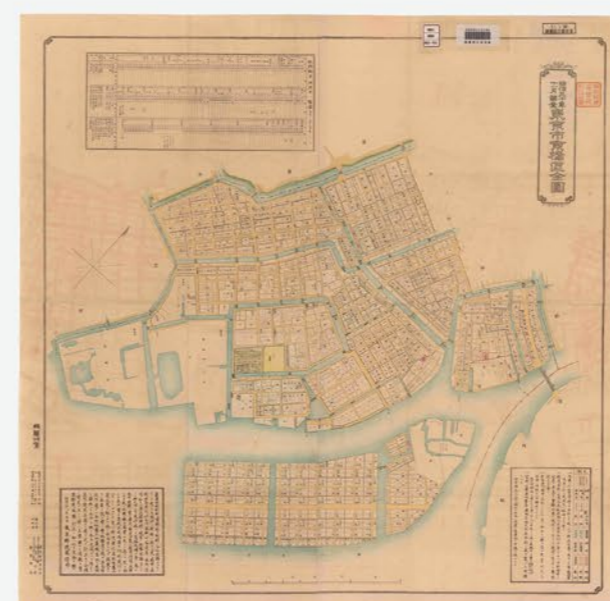
平成 31 年 3 月発行

編集・発行 東京都都市整備局都市づくり政策部
緑地景観課
新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
電話番号 (03) 5388-3359

印刷 北海道地図株式会社

東京都選定歴史的建造物と
特に景観上重要な歴史的建造物等

銀座・築地 エリア



東京市京橋区全圖 (部分)
東京郵便電信局 1900年
東京都立中央図書館所蔵



「築地門跡ノ遠景」
井上安治 明治期
都立中央図書館特別文庫所蔵

銀座・築地エリアの歴史と街並み

銀座・築地は、近年まで、隅田川河口につながる河川に囲まれた水辺の街でした。

銀座を立体的に囲む東京高速道路や銀座・築地の境にある首都高速道路は、第二次世界大戦後の高度成長期に、河川を埋め立てて造られました。その他の街なかの河川も、大正12(1923)年の関東大震災後の復興事業による整備や昭和期の埋立てを経て、区立公園等になりました。

銀座・築地の地域全体の地形は比較的平坦ですが、公園の名称・形状、交差点名、そして付近の土地の起伏に、河川があった頃の名残をとどめています。

銀座は、明治5(1872)年の銀座大火後の煉瓦街建設をきっかけに、文明開化を象徴する洋風の街になりました。

現在の銀座は、日本有数の繁華街として、国内の老舗や海外ブランドの旗艦店が軒を連ねています。また、大小の通りでは、美観を考慮した舗装・街灯・街路樹の整備がなされ、華やかな街並みを地域全体で形成しています。

築地では、明治元(1868)年から32(1899)年まで、現在の明石町に外国人居留地が開かれました。居留地内では、多くのキリスト教系学校が設立されました。現在、明石町内各所には、幕末の武家地の頃も含め、町内で生まれ都内各地に移転した数々の学校の記念碑が建てられています。

また、大正12(1923)年の関東大震災後、築地本願寺の寺内町に隣接して、中央卸売市場築地本場が建設されました。現在、寺内町は築地場外市場としてにぎわっていますが、今でも、街中に幾つかの寺院があります。

銀座・築地エリアの歴史的建造物等

銀座・築地エリアでは、関東大震災後、昭和初期に造られた数々の歴史的建造物等を見ることができます。

東京都では、歴史的建造物のうち景観上重要なものについて「東京都選定歴史的建造物」として選定し、文化財や公園などを「特に景観上重要な歴史的建造物等」に定めています。

<参考文献>

- 中央区史 上・中巻(東京都中央区役所)
- 中央区郷土天文館 第18回特別展 区政施行70周年記念 中央区のあゆみ 一戦後の発展とまちの変化(中央区教育委員会、中央区立郷土天文館(タイムドーム明石))
- 荒川下流史/本編(荒川下流史編纂委員会、(財)リバーフロント整備センター、山海堂)
- 東京都政五十年史 通史(東京都)
- 都史紀要3 銀座煉瓦街の建設(東京都)
- 都史紀要4 築地居留地(東京都)
- 都史紀要25 市区改正と品海築港計画(東京都)
- 東京都中央卸売市場史 上・下巻(東京都、東京都中央卸売市場)
- 築地本願寺遷座三百年史(築地本願寺)
- 新修 築地別院史(本願寺築地別院)
- 築地本願寺(日本語リーフレット、2018.7、浄土真宗本願寺派築地本願寺)

この地図は、国土地理院長の承認（平 24 関公第 269 号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2, 500）を使用（31 都市基交第 794 号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。